

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123221080	マーケティング Marketing	今泉 充啓			2	選択	2前期

科目の概要

売れる商品を作るためには、消費者のニーズを知ることが必要であり、そのために行われるのが「市場調査（マーケティングリサーチ）」です。この授業では、マーケティング理論に加え、マーケティング活動を行う際に必要となる社会調査法やデータの分析方法の基礎を学びます。ここでは、「人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる。」「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。」の2つのDiploma Policy(DP4・6)の実現を目指します。

学修内容	到達目標
① マーケティング戦略などのマーケティングの基礎知識を学ぶ ② 社会調査法を学ぶ ③ 回帰分析・主成分分析を学ぶ ④ 調査から報告までのプロセスを学ぶ	① マーケティングの基礎知識を説明できる ② データの種類や調査方法を説明できる ③ 目的に応じた分析方法を選択し、分析することができる ④ 分析した結果をまとめ、発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	学習した分析方法を授業で用いたデータで、授業以外でも再現することができる
	働きかけ力	
	実行力	学習した分析方法を独自のデータで、授業以外でも再現することができる
考え抜く力	課題発見力	学年末試験のレポートの課題を自身で見つけることができる
	計画力	
	創造力	学年末試験のレポートの分析目的を明らかにすることができる
チームで働く力	発信力	分析結果を発表することができる
	傾聴力	教員の授業、他の学生の発言に耳を傾けることができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻をせず、授業に集中することができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する

他科目との関連、資格との関連

この授業は、『ビジネス・地域活性の科目群』に属し、その後の「ビジュアルプレゼンテーション演習」や「イベントプロデュース演習」への応用が可能です。
また、社会調査やデータを扱うための知識として「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」「リサーチリテラシー」と関わりがあります。また、分析するにあたり統計学知識が必要であるため「データ解析法」と関連します。
資格としては「フードスペシャリスト」と関連します。

学修上の助言	受講生とのルール
Excelには、主成分分析の機能はついていません。従って、この授業では、これらの分析をExcel上でどのような手順で行うのか説明します。	予習・復習の課題の提出などにはClassroomを活用します。6週以上の欠席は授業放棄となります。遅刻・早退は20分未満とし、3週で欠席1週となります。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	90	①	✓			（獲得）マーケティングに関する分析手法について理解している（40%） （活用）地域あるいは自分たちの自身の生活の中からマーケティングに関する課題を抽出できる（40%） （解決）抽出した問題点に対する改善策が提案できる（20%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①				（主体性）授業で配布したプリントを読み直す。 （実行力）授業以外でもExcelを使う。 （課題発見力）レポートのテーマを探すことを日常生活においても意識する。 （創造力）新聞・テレビ・インターネットから積極的に情報を得る。 （発信力）学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができている。 （傾聴力）他者のレビューの際に、お互いの課題がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。 （規律性）無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語など授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。	
			②					
			③					
			④					
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業で学修した統計学的知識と分析手法を用いて、実際のデータを分析し、それをレポートとしてまとめることができるかを評価します。評価にあたっては、レポートに以下の要素が含まれているかを確認します。「分析の目的」、「データと変数の説明」、「分析方法とその結果」「考察」。これらがすべて適切に記述されており、特に分析結果に対して妥当な考察がなされている場合は、Sと評価します。	授業で学修した統計学的知識と分析手法を用いて、実際のデータを分析し、それをレポートとしてまとめることができるかを評価します。評価にあたっては、レポートに以下の要素が含まれているかを確認します。「分析の目的」、「データと変数の説明」、「分析方法とその結果」。これらすべてが適切に記述されており、特に収集したデータに対して妥当な分析が行われていると判断される場合には、Bと評価します。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス ・授業の進め方, 出席確認, レポートについて, 評価方法 をシラバスを用いて説明する 統計データに触れてみよう *Web上に公開されている データの入手先としてe-Stat などのサイトを訪れてみる	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	自分の望むデータが得 られる調査先を突き止 め, Web上からその データを手に入れるこ とができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
2	統計データとは? *Web上に公開されている 調査を見ながら, 変数と変 量, 連続と離散, 母集団と 標本など統計学用語を学 ぶ。また, 社会調査の種類 や調査方法, 抽出方法など 社会調査に関連する用語に についても学ぶ。	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	授業で説明した統計用 語と社会調査に関連す る用語を説明できる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
3	Excelを使ってみよう! *平均値, 中央値, 最 頻値など基本統計量の 意味を理解し, Excelを 使って実際のデータか ら求める方法を学ぶ。 また, データからヒス トグラムを作成する方 法を学ぶ。	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	授業で説明した基本統 計量(平均値, 中央 値, 最頻値, 最大値, 最小値, 分散, 標準偏 差)を説明することが でき, 実際のデータか ら求めることができ る。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
4	回帰分析① *単回帰分析の目的と 活用方法を学び, 実際 のデータを用い, Excelでの実行方法を 理解する	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	与えられたデータを 使って, 配布資料の解 説を見ながら単回帰分 析を行うことができ る。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
5	回帰分析② *重回帰分析の目的と 活用方法を学び, 実際 のデータを用い, Excelでの実行方法を 理解する	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	与えられたデータを 使って, 配布資料の解 説を見ながら重回帰分 析を行うことができ る。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	80	主体性 実行力 規律性
6	回帰分析③ *量的データと質的 データの違いを理解 し, 分析で用いる変数 の作り方(ex. ダミー 変数)を学ぶ。また, 実際のデータを使っ て, 自分自身で分析す る。	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	量的データと質的デー タの違いを説明でき, ダミー変数の作成方 法, 分析での使い方が 分かる。また, 与えら れたデータを使って回 帰分析を実行すること ができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
7	主成分分析① *主成分分析の目的と 活用方法を学び, サン プルデータを用い, Excelでの実行方法を 理解する	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	与えられたデータを 使って, 配布資料の解 説を見ながら主成分分 析を実行することがで き, 各成分の意味付け ができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
8	主成分分析② *サンプルデータを使 って, 自分自身で分 析する。	講義・演習 Google Classroomによる 課題の提出、質問の 受付	与えられたデータを 使って, 配布資料の解 説を見ながら主成分分 析を実行することがで き, 各成分の意味付け ができる。	(予習) 事前に配布さ れる資料を読み学修内 容を確認しておく (復習) 授業内に提示 される復習課題を期限 までに提出する	180	主体性 実行力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	時系列分析① *Zチャートの活用方法を学ぶ	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらZチャートを作成し、分析することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
10	時系列分析② *ファンチャートの活用方法を学ぶ	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらファンチャートを作成し、分析することができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
11	ABC分析 *ABC分析の目的と活用方法を学び、実際のデータを用い、Excelでの実行法を理解する。	講義・演習 Google Classroomによる課題の提出、質問の受付	与えられたデータを使って、配布資料の解説を見ながらABC分析を行うことができる。	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 規律性
12	レポートの作成に向けて—Excelによる解析①— *最終レポートのため、自分で入手したデータを使って分析を行う	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	分析目的に応じたデータを収集し、適切な分析を行うことができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
13	レポートの作成に向けて—Excelによる解析②— *前回のつづき	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	分析結果や基本統計量など、レポートに必要な図・表を作成できる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力
14	まとめ *データ分析手法を見直す	オンデマンド形式による講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	取り上げた分析の手法について説明することができる	(予習) 今までの資料を見直し学修内容を確認しておく (復習) 提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	レポートの作成に向けて *スライド資料を作成する	講義・演習 Google Classroomによる質問の受付	PowerPointを用いて、スライドを作成することができる	(予習) 事前に配布される資料を読み学修内容を確認しておく (復習) 授業内に提示される復習課題を期限までに提出する	180	主体性 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力